

推 奨 映 画 に つ い て

| | |
|---------|--|
| 題 名 | こちらあみ子 |
| 監 督 名 | 森井勇佑 |
| 製 作 者 | 株式会社ハーベストフィルム |
| 内 容 | <p>あみ子はちょっと風変わりな女の子。優しいお父さん、一緒に遊んでくれるお兄ちゃん、書道教室の先生でお腹には赤ちゃんがいるお母さん、憧れの同級生のり君、たくさんの人に見守られながら元気いっぱい過ごしていた。だが、彼女のあまりに純粹無垢な行動は、周囲の人たちを否応なく変えていくことになる。誕生日にもらった電池切れのトランシーバーに話しかけるあみ子。「応答せよ。応答せよ。こちらあみ子」——。奇妙で滑稽で、でもどこか愛おしい人間たちのありようが生き生きと描かれていく。</p> |
| 推 奨 理 由 | <p>真っ直ぐに生きる主人公「あみ子」の姿は、常識や固定概念に縛られ、生きづらさを感じている現代の私たちにとって、かつて自分たちが観ていたはずの世界を呼び覚まし、観た人が自分自身の中のあみ子を発見、共鳴し、また、あみ子を取り巻く、父親、母親、兄弟、友達の立場になり、もし自分だとしたら、どうあみ子と向き合っているのか考える物語になっている。教育の現場では、様々な個性を持った子供たちと向き合い、共に成長していかなければならないと思う。『こちらあみ子』を教師、親、子供たちが共に観ることによって、それぞれの立場に立って、お互いの個性、多様性について、考えるきっかけとなると考えられる。</p> <p>以上のことから、青少年の健全な育成に役立つ有益な映画と認められるが、青少年が鑑賞する際には、家族などの大人と一緒に鑑賞し、鑑賞後には、本作品のメッセージを伝える様々な光景や言葉などをたぐり寄せて考えながら、十分に意見交換をすることが望ましい。</p> |
| 上映期間・場所 | 広島県内では上映終了（全国の一部映画館で上映中） |